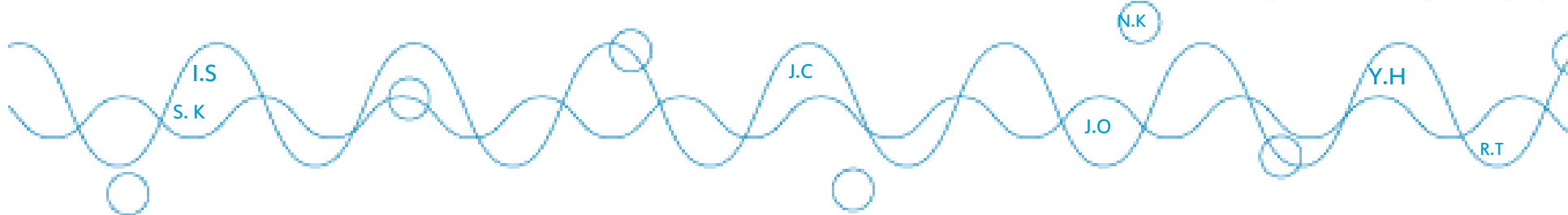


June 27, 2013

GA CCC  
 CC AAAA GGCC  
 ATAAGA CTCTAACT CI  
 AA TAATC  
 AAT A TCTATAAGA CTCT/  
 CTCGCC AATTAATA  
 ATTAATC A AAGA C CTA  
 AAT A TCTATAAGA CTCTAACT  
 CTCGCC AATTAATA  
 TTAATC A AAGA C CTA  
 AAT A TCTATAAGA CTCTAACT  
 ATTAATC A AAGA C CT  
 GA C CTA  
 0011 1110 000

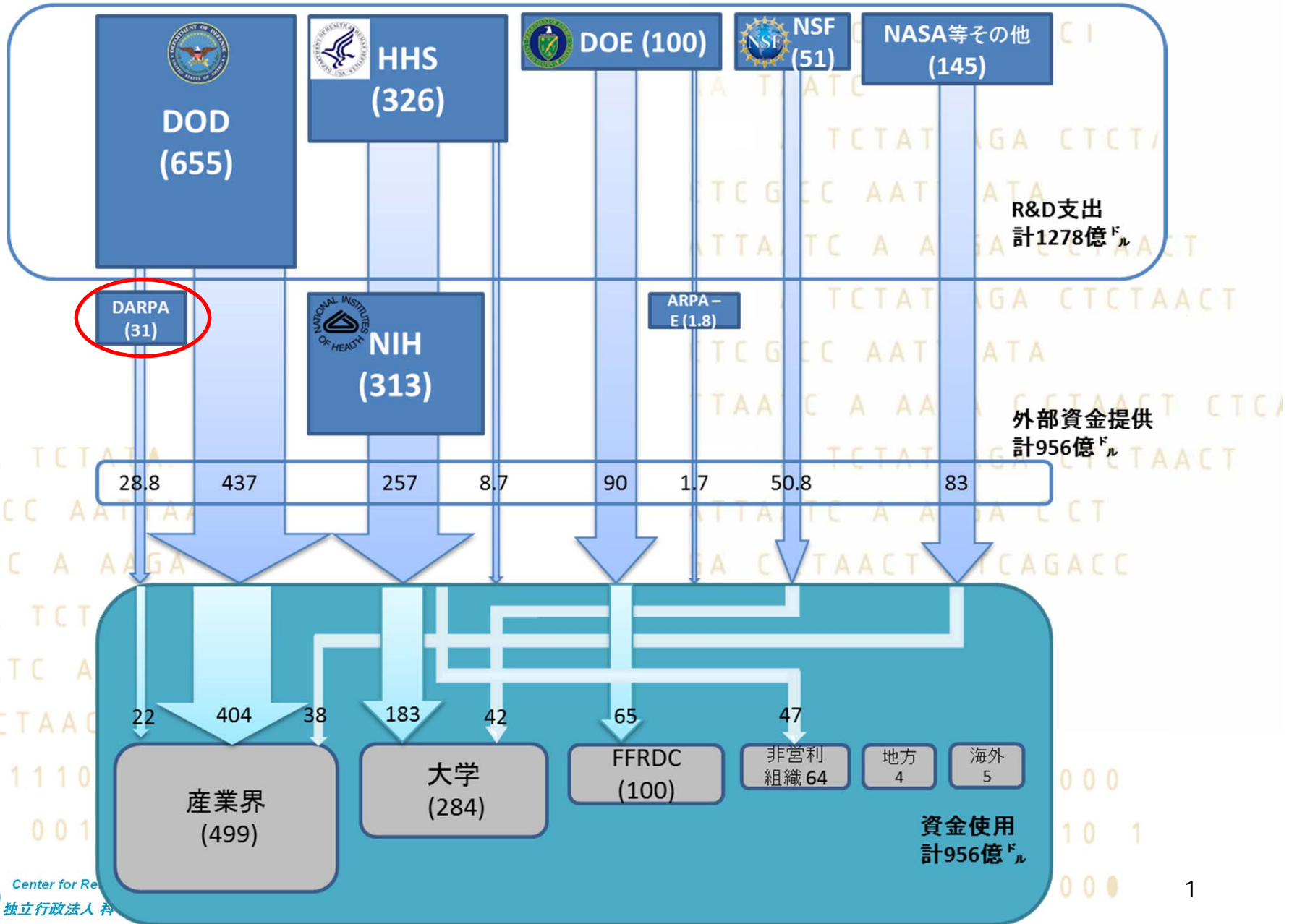
# DARPAモデルについて

## JST/CRDS 海外動向ユニット



# 政府研究開発資金の流れ(2011年度)

単位:億ドル



# DARPAとは

- DARPA(Defense Advanced Research Projects Agency:国防高等研究計画局)は国防総省傘下の資金配分機関
- 1958年、ソ連のスパウトニク・ショックを受けて設立
- DARPAのミッションは、米軍の技術優位性を維持し、国家安全保障を脅かす「技術的サプライズ」を防止すること
- ラディカル・イノベーションとなる見込みのあるハイリスク・ハイペイオフ研究の実用化を目指して研究助成
- ステルス技術、暗視技術、防空ミサイルの精密誘導、空中照準レーザー、無人航空機などの軍事技術を開発
- インターネットの基盤となったARPANETやGPSなど、社会にインパクトをもたらすイノベーションを実現。最近ではリアルタイムで翻訳を行うフレーズリーダーや音声アシスタントアプリのSiri(アップル)などの開発を支援

# DARPAの役割

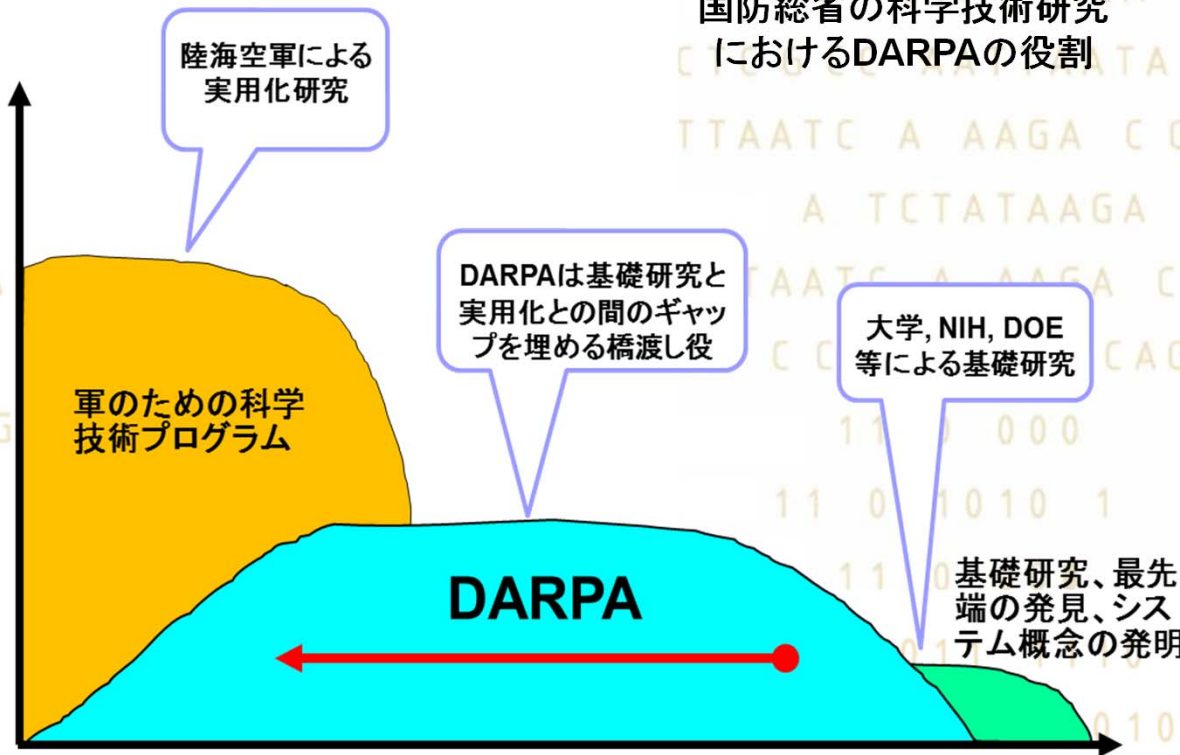
- 米軍が今直面しているニーズに対応するのではなく、将来のニーズに対応するためのハイリスク・ハイペイオフ研究を支援し実用化を加速
- リスクが高すぎたりミッションと一致しないなど、他の軍所属研究所では扱わない技術や、既存のシステム・概念を壊すような技術、軍司令部が現時点では必要とは認識していないが、将来的に必要なであろう技術に投資

科学技術予算\$

100億

50億

0



短期

中期

長期